

日本音楽表現学会 第 19 回 (天翔るペガサス) 大会特集

目 次

【巻頭言】 答えのない課題	藤原 嘉文	2
2021 年度総会報告		3
第 19 回 (天翔るペガサス) 大会—運営・準備 参加者の声—		10
	澤田まゆみ	
	小野 亮祐	
	杉江 淑子	
	近藤 晶子	
	奥 忍	
	中村 隆夫	
	柚木たまみ	
	大場 俊一	
	笹野恵理子	
	榊原 明子	
	萬年 祐子	
新入会員紹介		16
日本音楽表現学会後援コンサート等情報		18
会員による CD/DVD 等リリース		19
会員による新刊案内		19
事務局からの重要なお知らせとお願い		20
日本音楽表現学会第 20 回 (ソナーレ) 大会のご案内		24
2021 年度役員・委員等一覧		24
編集後記		24

日本音楽表現学会

所在地：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail : music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000 円

振込先：A) 郵便局振込用紙利用 01370 = 6 = 78225 日本音楽表現学会

B) ゆうちょ銀行へ振込 いちさんきゅう 一三九 (139) 店 (当座) 0078225 日本音楽表現学会

答えのない課題

副会長 藤原 嘉文 (作曲)

これからの時代を生き抜くために課題解決能力を身につけることが重要である、と言われて久しい。課題解決能力。つまり「答えのない課題」をどう解くか。ずいぶん 트렌ディーな言い回しと思われがちだが、音楽の世界ではごく当たり前のこと。演奏にしても創作にしても、「どう表現するか」に正解なんてあり得ない。太古より音楽に関わる人は皆「答えのない課題」に取り組み続けてきたと言っても過言ではないだろう。

私ごとで恐縮であるが、今年度末で大学を定年退職する予定である。コロナ禍における前例のない事態に次々と直面し、なかなか「定年」という気にもなれない。しかし、授業やレッスン・ゼミなどの場では、ふと「このようにして学生と付き合うのもこれで最後か」と思うことがある。私の専門は作曲と即興演奏である。大学では、前者は作曲理論系授業と作曲専攻生のゼミ・レッスンを、後者は全学共通教養科目（一般教養）を中心に担当している。

まず作曲。これは正に「答えのない課題」。「課題」というのは適切な表現ではないかもしれないが、作品を書き続けて45年。実際この歳になっても自分でもわからない。よく『作曲ってどうやるのですか？』と訊かれるが、回答に困ってしまう。エクリチュールは必要であるが、だからと言ってそれに熟達すれば作曲ができるとは限らない。自分でわからないものを学生たちにレッスンしているのだから、よく考えれば随分とんでもないことである。それでも、教員養成課程の各学年6名程度の音楽系学生のうち2名ほどが2年次に毎年作曲ゼミの門を叩くのだから、気が知れない。最低でも1年に1作品発表することになっているので、25年間に溜まった学生たちの作品のスコアは膨大な量である。これを退職後自宅の狭い仕事部屋のどこに保管するかを考えると頭が痛い。しかし、私にとっては大切な財産である。

次に即興演奏。「音楽の即興表現とは？」をテーマに25年間、全学の学生を対象とした共通教養科目を開講している。F. グルダ、R. グレイソン、G. グール

ドから山下洋輔、小曾根真、キース・ジャレット、ハービー・ハンコックなど一流の演奏。通奏低音や装飾表現、自由挿入句などバロック時代における鍵盤奏者の自由な演奏表現。あるいは、ベートーヴェン、フンメル、チェルニーなど古典時代の芸術的な即興事例や指導法に触れる一方、受講生は全くの鍵盤初心者も含めて簡単な方法でその一端を体験させる。ミスや変な音を出すことに恐れない「楽しむ」ことをモットーに、1本指アドリヴ体験リレー、ペントニックによるDuet自由即興、カラオケによるピアノ協奏曲のカデンツァごっこ、図形楽譜にトライ等々で、最後に「自分が今考える音楽の即興表現とは？」のレポートを制作させるわけだが、私も未だに答えがわからない。「考える時間的余裕の多少によって即興度（即興性を感じる度合い）が異なる」という観点で考察すると、例えば「前もって十分練習をして、時には譜面上で推敲することを含めて本番に臨めば、即興とは思えない」と言い切れるであろうか？プロ奏者の場合、本番のステージでは練習時に思いもよらなかったInterplay（相乗効果）が見られ、一期一会の素晴らしい演奏に出会えることがある。逆に、例えばアンコールなどでいきなり即興演奏をする場面において、聴衆からモチーフなどの素材・形式などを指定され、その要求に素晴らしい演奏をして応えたとする。しかし、その内容は、どこかでよく聴かれるような内容の音楽表現であったとしたら――。勘ぐればキリがない。無から作り出せば即興性が強く、決まったテーマを即興的に演奏するのは即興性が弱いと言えるであろうか？考えれば考えるほどわからなくなってくる。だから面白い。この授業も今回で最後になるはずであるが、やはり答えは出ない。

“Transformative Action” 最近よく耳にするキーワードの一つであるが、「変容」つまり変化しながら行動していく生き方のことである。私もこの10年ずつと「音楽の即興表現を考える」のタイトルのもと分科会における研究発表を続けている。まだまだ「答えのない発表」を延々と続けようと考えているので、よろしく「おつきあい」いただきたいと願っている。

第19回（天翔るペガサス）大会特集



1) 日本音楽表現学会 2021 年度総会報告（議事録）

日時：2021年6月19日（土）15:35-16:45

方法：Web 会議システム（Zoom）

0. 総会定足数：

「日本音楽表現学会会則」第14条により、総会成立の要件は正会員（2021年6月19日現在593名）の1/5（119名）以上であることが確認された。

小野亮祐事務局長より、6月10日までに委任状204名分が届いていることが報告され、これにオンライン出席者70名を加えて合計274名の出席者をもって総会の成立要件を充足していることが確認された。

1. 開会の辞：山名敏之副会長から開会が告げられ、続いてご挨拶が、小西潤子会長よりなされた。

2. 議長・記録選出：議長に笹野恵理子会員が、記録に宮田知絵会員が選出された。

3. 報告

1) 2020 年度事業報告について：

小野事務局長より【資料1】に基づき報告があり、『会員名簿』は予定通り2020年11月に、当初2019年度発行予定であった『論文執筆のしおり』は2021年3月に発行された旨説明がなされ、了承された。

		2020 年度事業報告	【資料1】
第18回ペガサス大会		2020.06.13-14	共催：新島学園短期大学 於：オンライン
	総会	2020.06.13（土）15:40-16:50	於：zoomによるオンライン開催
	分科会	2020.11.30（月）	於：『音楽表現学』Vol.18において誌上発表
理事会	第1回（定例）	2020.06.14（日）16:00-17:00	於：zoomによるオンライン開催
	第2回（定例）	2020.12.06（日）10:00-19:00	於：学会事務局& zoomによるオンライン開催
	臨時	2021.02.20（土）17:00-19:00	於：zoomによるオンライン開催
	第3回（定例）	2021.03.27（土）10:40-16:00	於：学会事務局& zoomによるオンライン開催
	第4回（定例）	2021.06.14（月）18:30-20:30	於：zoomによるオンライン開催
	その他	電子媒体による持ち回り会議	
編集委員会	第1回	2020.06.06（土）10:00-12:00	zoomによるオンライン開催
	第2回	2020.08.02（日）10:00-14:00	zoomによるオンライン開催
	その他	電子媒体による持ち回り会議	
	『音楽表現学』Vol.18 発行	2020.11.30（月）	
	『音楽表現学』Vol.17 電子版登載	2020.11.30（月）	
ニューズレター発行	No.1	2020.07.31（金）	
	No.2	2020.11.30（月）	
	No.3	2021.03.31（水）	
	「天翔るペガサス大会ちらし」発行	2021.03.31（水）	
	『2020 年度会員名簿』発行*	2020.11.30（月）	
	『論文執筆のしおり 2020 年度版』発行**	2021.03.31（水）	
	上半期会計報告	2020.12.06（日）	於：第2回定例理事会
	下半期会計報告	2021.03.27（土）	於：第3回定例理事会
	2020 年度監査	2021.05.28（金）	於：google 共有ドライブ
天翔るペガサス大会実行委員会	第1回	2021.02.08（月）21:00-22:30	zoomによるオンライン開催
	第2回	2021.04.20（月）21:00-22:00	zoomによるオンライン開催
	その他	電子媒体による持ち回り会議	

*後援 17件

2) 第18回(ペガサス)大会決算報告について

上山典子財務担当理事より【資料2】を基に報告され、異議なく了承された。

【資料2】

【収入】	費目	金額	備考	予算
	大会参加費	196,000	誌上発表者：3,500円×56名 =196,000	203,000
	広告掲載料・展示ブース料	297,500	42,500×1=42,500 25,500×4=102,000 17,000×6=102,000 8,500×6=51,000	212,500
	大会要項販売	0		0
	雑収入	0		0
	情報交換会より繰り入れ*	0		0
	学会一般会計より補填	203,764		295,500
	合計	697,264		711,000
【支出】	費目	金額	備考	予算
	基調講演講師謝礼	0		0
	レクチャーコンサート謝礼	0		0
	オープニング演奏経費	0		0
	学生アルバイトスタッフ謝金	0		0
	校舎施設使用料	0		0
	著作権料	0		0
	『大会要項』等編集・印刷費	460,650	本部：チラシ 10,860 大会要項 449,790	500,000
	大会事業経費	69,740	本部：事務局スタッフ役務費など	5,000
	会議費	7,083	実委：実行委員会会場費など	15,000
	通信発送費	57,725	本部：『大会要項』発送費 57,475 実委：オルガン奏者 250	71,000
	交通費	100,886	本部：表敬訪問費 96,554 実委：実行委員交通費 4,332	110,000
	スタッフボロシャツクリーニング	0		0
	事務用品費	300	ノート代 300	3,000
	振込手数料	440	大会要項	2,000
	雑費	440	広告代振込手数料未納分補填	5,000
	合計	697,264		711,000

* 情報交換会費 情報交換会は実施できなかったため収入・支出とも「0円」である。

3) 2020年度会計報告・監査報告

上山財務担当理事より【資料3】に基づき報告があった。また、小川有紀監事より2020年度処理が適正に行われており会計報告に問題がないとの監査報告があり、異議なく了承された。

2020年度会計報告・監査報告

【資料3】

【収入】	費目	2020年度決算	2020年度予算	備考
	2020年度会費	3,085,000	3,000,000	5000円×延617名
	学会誌売上	36,500	65,000	13冊
	論文執筆のしおり売上	300	6,000	1冊
	利息	9	15	ゆうちょ2冊+みずほ
	大会会計から繰り入れ	0	0	
	雑収入	76,000	0	音楽表現学カラー印刷
	小計	3,197,809	3,071,015	
	前年度繰越金	2,310,917	2,310,917	
	合計	5,508,726	5,381,932	

【支出】	費目	2020年度決算	2020年度予算	備考	
	『音楽表現学』Vol.19	印刷費等	715,270	800,000	
		査読謝礼・英文題目校閲	12,500	30,000	
	ニューズレターNo.1～No.3	印刷費等	102,564	150,000	
	名簿(偶数年度発行)	作成・印刷費	101,708	150,000	役務費を含む
	『論文執筆のしおり』	印刷費	65,360	50,000	
	理事会	会場費	4,500	60,000	第2回、第3回理事会
		交通費	58,860	500,000	
	編集委員会	会場費	0	40,000	
		交通費	0	300,000	

選挙管理委員会	会場費	0	-	
	交通費	0	-	
	印刷費	0	-	
	通信発送費	0	-	
	役務費：発送作業	0	-	
デザイン室	事務用品費	91,057	170,000	トナー、インクなど
	役務費	129,840	110,000	各種文書作成など
事務局費	会場費	0	5,000	
	交通費	0	50,000	
	通信発送費	300,407	250,000	含・総会資料発送費
	事務用品費	47,328	80,000	封筒、用紙等
	役務費	70,560	80,000	発送作業など
学会基金積立		300,000	300,000	
払込手数料		3,630	7,000	
雑費		29,490	10,000	総会資料印刷費（外注）
大会補助		203,764	295,500	
予備費		0	10,000	
小 計		2,236,838	3,447,500	
次年度繰越金		3,271,888	1,934,432	
合 計		5,508,726	5,381,932	

学会基金

【収入】	費 目	2020 年度決算	2020 年度予算	備考
	2020 年度学会基金	300,000	300,000	
	『音楽表現学のフィールド 1,2』 売上	18,000	30,000	6 冊（送料込み）
	利息	39	30	三井住友
	小 計	318,039	330,030	
	前年度繰越金	4,628,897	4,628,897	
	合 計	4,946,936	4,958,927	

【支出】	項 目	2020 年度決算	2020 年度予算	備考
	『音楽表現学』バックナンバー電子化	57,000	100,000	j-stage への掲載
	小 計	57,000	100,000	
	次年度繰越金	4,889,936	4,858,927	
	合 計	4,946,936	4,958,927	

以上の通り、報告いたします。

2021 年 5 月 22 日

財務

渡会 純一 ④ 上山 典子 ④

監査の結果、以上に間違いありません。

2021 年 5 月 28 日

監査

海津 幸子 ④ 小川 有紀 ④

4) 年会費納入状況 (2021 年 3 月 31 日現在)

小野事務局長より【資料 4】について 2018 年度からの未納者については、2021 年度 3 月 31 日付けで除名処分を実施することが報告され、了承された。(詳細は、4. 協議 7 に掲載)

年会費納入状況 (2021 年 3 月 31 日現在)

【資料 4】

会員数	未納状況
592 名 (2021 年 3 月 31 日)	2018,2019,2020 年度未納 (12 名) 2019,2020 年度未納 (27 名) 2020 年度未納 (56 名)

5) 『音楽表現学』所収「研究報告」の J-STAGE への掲載

藤原嘉文副会長より、『音楽表現学 vol.17』までの原著論文、評論論文の掲載が既に終了した旨、報告があった。Vol.18『音楽表現学』より、「研究報告」も含めたすべての論文を掲載する予定で作業を進めている。なお「総会資料」(p.4 -5)の「搭載」は「登載」に修正された。

6) 『音楽表現学』vol.19 投稿状況

渡辺修身編集委員会委員長より、5 月 19 日に投稿を締め切った結果、原著論文 5 本、評論論文 3 本、研究報告 4 本、計 12 本の投稿があった旨、報告がなされた。11 月末発行予定で今後の作業が進められる。

7) その他 なし

4. 協議

1) 2021 年度事業計画（案）について

小野事務局長より【資料5】を基に説明され、原案通り異議なく了承された。

2021 年度事業計画 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)		【資料5】
第 19 回 (天翔るペガサス) 大会	2021.06.19 (土)	共催：新島学園短期大学
オープニング～サロン		於：オンライン
(オープニング演奏)	13:00-13:07 頃	於：YouTube
(ご挨拶)	13:07 頃-13:20	於：参加者限定 YouTube
(基調講演)	13:20-13:50	於：参加者限定 YouTube
(レクチャーコンサート)	13:50-15:25	於：参加者限定 YouTube
(サロン)	17:00-18:00	於：参加者限定 Zoom
*参加者限定 YouTube 2021.06.20 (日) 24:00 まで視聴可能		
(研究発表分科会)	2021.08.31 (火)	(誌上发表原稿〆切日)
	2021.11.30 (火)	『音楽表現学』Vol 19 にて誌上发表
2021 年度総会	2021.06.19 (土) 15:35-16:45	於：オンライン TV 会議 (会員限定 zoom)
2021 年度理事会	第 1 回 2021.06.21 (月) 19:00-20:00	於：オンライン TV 会議
	第 2 回 2021.11 月末-12 月初旬	於：京都市内
	第 3 回 2022.03 末	於：京都市内
	第 4 回 2022.06 大会前日	
その他	電子媒体による持ち回り会議	
2021 年度編集委員会	第 1 回 2021.05.30 (日) 19:00-21:00	於：オンライン TV 会議
	第 2 回 2021.08.01 (日)	於：オンライン TV 会議
その他	電子媒体による持ち回り会議	
選挙管理委員会	第 1 回 2021 年 7 月中旬	於：オンライン TV 会議
	第 2 回 2022 年 2 月初旬	於：事務局
	第 3 回 2022 年 3 月下旬	於：事務局
その他	電子媒体による持ち回り会議	
ニューズレター発行 No.1	2021.07.31 (土)	
	No.2 2021.11.30 (火)	
	No.3 2022.03.31 (木)	
『音楽表現学』Vol.19 発行	2021.11.30 (火)	
*後援 20 件 (2020 年度 17 件)		

2) 第 19 回 (天翔るペガサス) 大会予算

上山財務担当理事より【資料6】を基に説明され、異議なく了承された。

第 19 回 (天翔るペガサス) 大会予算			【資料6】	
【収入】	費目	金額	備考	かきつばた決算
	大会参加費	750,000	参加費 5,500 円 × 120 名 非会員 6,500 円 × 10 名 学部学生 2,500 円 × 10 名	992,000
	広告掲載料	200,000		230,000
	大会要項販売	0		6,000
	雑収入	0		0
	小計	950,000		1,228,000
	学会一般会計より補填	424,000		70,948
	合計	1,374,000		1,298,948

【支出】	費目	金額	備考	かきつばた決算
	基調講演講師謝礼	0		0
	レクチャーコンサート謝礼	0		61,720
	オープニング演奏経費	80,000	楽器運搬代 33,000、出演学生交通費等 1,000×33、 オープニング演奏の著作権	15,000
	オンライン経費	26,000	zoom ビジネスライセンス取得	0
	学生アルバイトスタッフ謝金	0		162,000
	校舎施設使用料	100,000	施設使用料、ピアノ調律等	126,400
	『大会要項』等編集・印刷費	440,000	チラシ 8,453、大会要項 333,190 など	474,667
	大会事業経費	400,000	収録・編集作業費など、大会本部経費、役務費等	204,966
	会議費	10,000	撮影日お茶代 6,000、撮影隊昼食代 (高崎 4,000)	47,960
	通信発送費	72,000	大会要項等発送費 59,422 ほか	61,162
	交通費	235,000	本部：収録交通費・宿泊費 (京都・高崎) 170,000 実委：収録交通費 15,000 出演者：交通費・宿泊費 50,000	122,976
	スタッフポロシャツクリーニング	0		9,046
	事務用品費	5,000		7,243
	振込手数料	3,000		2,808
	雑費	3,000		3,000
	小計	1,374,000		1,298,948
	一般会計へ繰越	0		0
	合計	1,374,000		1,298,948

3) 2021 年度予算 (案) について

上山財務担当理事より【資料 7】に基づき提案があり、異議なく了承された。主な提案を以下に記す。

- ・収入面：新しいしおりが完成 (1 部 400 円)。その販売数による収入を期待。
- ・支出：オンライン会議等の経費は、前年度と同額。
- ・理事選挙：消費税の値上がりにより、通信発送費等をやや多めに計上。
会員の皆様方へは、選挙へのご協力をお願いしたい。
- ・繰り越し金：安定している。年会費はこのまま現状維持。

2021 年度予算

【資料 7】

【収入】	費目	2021 年度予算	2020 年度決算	備考
	2021 年度会費	3,000,000	3,085,000	
	学会誌売上	30,000	36,500	
	『論文執筆のしおり 2020 年度版』売上	6,000	300	
	利息	0	9	
	大会会計から繰り入れ	0	0	
	雑収入	0	76,000	
	小計	3,036,000	3,197,809	
	前年度繰越金	3,271,888	2,310,917	
	合計	6,307,888	5,508,726	

【支出】	費目	2021 年度予算	2020 年度決算	備考
	『音楽表現学』Vol.19 印刷費等	800,000	715,270	
	査読謝礼・英文題目校閲	30,000	12,500	
	ニューズレター No.1～No.3 印刷費等	150,000	102,564	
	名簿 (偶数年度発行) 作成・印刷費	-	101,708	役務費を含む
	『論文執筆のしおり』印刷費	-	65,360	
	理事会 会場費	60,000	4,500	
	交通費	500,000	58,860	
	編集委員会 会場費	40,000	0	
	交通費	300,000	0	
	選挙管理委員会 会場費	10,000	0	(参考) 2019 年度決算 0
	交通費	10,000	0	6,520
	印刷費	35,000	0	30,410
	通信発送費	70,000	0	57,420
	役務費：発送作業	20,000	0	13,300

デザイン室	事務用品費	170,000	91,057	トナー、インクなど
	役務費	130,000	129,840	各種文書作成など
事務局費	会場費	5,000	0	
	交通費	50,000	0	
	通信発送費	350,000	300,407	NL no.1～3、総会資料など
	事務用品費	80,000	47,328	封筒、用紙等
	役務費	80,000	70,560	発送作業など
学会基金積立		300,000	300,000	
払込手数料		5,000	3,630	
雑費		30,000	29,490	
大会補助		424,000	203,764	
予備費		10,000	0	
小計		3,659,000	2,236,838	
次年度繰越金		2,648,888	3,271,888	
合計		6,307,888	5,508,726	

学会基金

【収入】	項目	2021年度予算	2020年度決算	備考
	2021年度学会基金	300,000	300,000	
	『音楽表現学のフィールド1,2』売上	15,000	18,000	
	利息	0	39	三井住友
	小計	315,000	318,039	
	前年度繰越金	4,889,936	4,628,897	
	合計	5,204,936	4,946,936	

【支出】	項目			備考
	『音楽表現学』バックナンバー電子化	100,000	57,000	J-stageへの登載
	小計	100,000	57,000	
	次年度繰越金	5,104,936	4,889,936	
	合計	5,204,936	4,946,936	

4) 「会則」改正(案)について

澤田まゆみ総務担当理事より【資料8】に基づき、ゆうちょオンラインの住所申請に必要なため、事務局と同住所を設定する旨、提案・説明され、異議なく了承された。また改正案 附則 11. 2021年6月19日改正に下線が加筆された。

「日本音楽表現学会 会則」

【資料8】

改正(案)	現行
第4条 本会に、事務局および財務局を置く。事務局は本会の会務を運営し、統括する。財務局は財務面で本会を代表する部局であり、本会の財務を統括する。	第4条 本会に、事務局および財務局を置く。事務局は本会の会務を運営し、統括する。財務局は財務面で本会を代表する部局であり、本会の財務を統括する。
2 本会は事務局および財務局を当分の間、京都市右京区花園土堂町1-6に置く。	2 事務局および財務局の所在地は2年毎に理事会の議を経て決定する。
附則 10. 2020年6月13日改正	附則 10. 2020年6月13日改正
11. 2021年6月19日改正	

5) 「投稿原稿の査読規定」(新規)(藤原副会長)

藤原副会長より「投稿原稿の査読規定」を策定する旨の説明があり、【資料9】の原案が提案された。文言について質疑応答があり、それらの部分について理事会で趣旨を活かして再整理することで了承された。主な質疑応答と理事会において検討した結果、完成した成文を記載する。

1) 規定のタイトル文字(「規定」か「規程」)に関して

→2015年度以後すべてタイトル文字を「規定」に統一しているとの説明が当時の奥忍事務局長よりあった。

2) 2-1の下欄にある観点に基づいて行われた評価を参考に、の意味について質問。

→文言の不備については趣旨を踏まえてより適切な表現を再検討する。

3) 3. は、採否判定以外の内容も含むため、それに相応しいタイトルを検討して欲しい。

→趣旨を変えず、文言を理事会および編集委員会で再検討する。

4) 修正再査読は1回のみか、また査読者に変更はあるか。

→修正査読で投稿された原稿については再度「修正再査読」となることはない。修正再査読投稿原稿については筆頭査読者が責任を持って再査読にあたる。

【資料9】

投稿原稿の査読規定	
<p>この規定は、日本音楽表現学会編集委員会規定第8条に基づく原稿の査読について実施上必要な事項を定める。</p> <p>1. 査読者の決定</p> <p>1-1. 【査読者の決定】 査読者については、編集委員会が原則編集委員の中から原稿ごとに適任者を決定する。この際、筆頭査読者兼投稿原稿担当1名、査読者2名の計3名を選出する。筆頭査読者は編集委員とし、他の査読者2名については、投稿原稿の専門性を鑑み査読者を編集委員以外から選出し依頼することができる。この際、候補者はできる限り当学会員から選出することとする。査読者は投稿締切後最初の編集委員会において決定する。</p> <p>1-2. 【査読者の匿名性】 原稿ごとの査読者の氏名は編集委員会外では匿名とする。</p> <p>2. 査読の実施</p> <p>2-1. 【投稿原稿の査読】 投稿された原稿の査読者は以下の4段階で評価を行う。 A= 採録 B= 若干の修正を条件に採録（修正採録） C= 修正再査読 D= 不採録</p> <p>2-2. 【査読結果の提出】 査読者は査読結果と投稿原稿の優れている点および改善を要する点を所定の様式にまとめ、編集委員会に提出する。</p>	<p>2-3. 【採否判定】 筆頭査読者は、他の査読者と協議の上、査読結果を総合し、各原稿について「採録」「修正採録」「修正再査読」「不採録」の4段階による採否判定を行う。その際原稿種の変更を求められることがある。</p> <p>3. 採否判定の通知</p> <p>編集委員長は、採否判定を投稿者に通知する。その際、査読者からの査読結果とコメントを合わせて投稿者に知らせるものとする。</p> <p>4. 修正採録・修正再査読</p> <p>4.1. 【修正採録】 「修正採録」の判定を受け取った投稿者は、査読コメントにそって修正を行った上で返送する。返送された原稿は、編集委員会によって適切な修正が行われていることを確認の上、「採録」とする。</p> <p>4.2. 【修正再査読】 「修正再査読」の判定を受け取った投稿者は、査読コメントにそって修正の上再投稿を行うことができる。再投稿された原稿は、筆頭査読者を中心に編集委員会により再査読される。</p> <p>5. 査読規定の変更</p> <p>この規定の変更は編集委員会からの発議を受けて理事会で検討、総会で協議の上決定するものとする</p> <p>附則 本規定は2021年6月19日から実施する。</p>

6) 2021-2022 各種委員・各種組織構成員の委嘱

小野事務局長から【資料10】の説明がなされ、異議なく了承された。

【資料10】

1) 編集委員会	委員長 渡辺 修身	副委員長 小川 容子						
	委員 稲木 真司	田中 昌司	田中 宏明	豊田 典子	長谷川正規	三島 郁		
2) 選挙管理委員会	委員長 田邊健太郎	委員 牛渡 克之	松井 萌					

7) 年会費3年間滞納による除名処分（小野事務局長）

小野事務局長から、現在3名の会員が除名対象となっている現況について報告され、「会則第8条(2)」に基づき、除名を行うことが提案され、了承された。

【資料11】

小林 琴子 西野 享丸 菅原 雄樹

8) 第20回大会開催候補地

小野事務局長より、次年度の大会は、「浜松学院大学」を会場として2022年6月に開催予定、との提案があった。
了承の後に高久新吾実行委員会委員長（予定）より挨拶があった。

期日：2022年6月

会場：浜松学院大学

実行委員会組織（仮）：

委員長：高久新吾（浜松学院大学）

事務局長：宮本賢二郎

実行委員：入江眞理、内山尚美、久次米祐江、中楯有起、二宮貴之

9) その他

協議題5)で、委任状執行の効力と挙手との関係について委任状提出者から総会全体に関わる以下の質問があった。

・委任状を提出しているが、総会に出席している。このような場合、審議では挙手しない方が良いか。

→今回は、前回からの流れも考慮し、委任状を1名分を削除する。

5. 議長・記録解任

順調な議事進行に対し、小西会長より感謝の辞が述べられた。

6. 閉会の辞

小西会長より総会の終了が宣言された。

2) 第19回（天翔るペガサス）大会 — 運営・準備・参加者の声 —

YouTubeでのオープニング演奏から開会式のご挨拶、大変格調高く充実した内容であった基調講演と続く三つのレクチャーコンサート、Zoomでの総会、サロン。今回のオンライン大会の準備・運営の背景にあった様々なドラマと参加者の声を集めました。参加できなかった方もぜひお目通しください。



オープニング演奏出演者

コロナ禍での大会運営

—鶴の舞はペガサスの天翔となり・・・浜松へ—

実行委員会事務局長 澤田 まゆみ

「鶴舞う形の群馬県」(『^{じょうもう}上毛かるた』の「つ」の読み札)で2年にわたり結成された大会実行委員会の事務局長を務めさせていただきました。群馬大学の吉田秀文大会実行委員長のもと、第18回ペガサス大会から若干のメンバー入れ替えがありながら、第19回「天翔るペガサス」大会も群馬に関わりある会員がこの大会のために集い、知り合い、力を合わせた2年間でした。所属や勤務先も様々なメンバーだったため会議はすべてZoom。開会式やオープニング演奏、レクチャーコンサートの一部の取

録準備や会場提供を担当させていただき、5月22日の収録日は群馬県内のコロナ状況に直前までハラハラさせられながら、共催の新島学園短期大学の学外者受け入れも奇跡的に叶い、何とか形にすることができました。

通常開催であれば担当すべき部屋割りやスケジュールなどの大変な業務は、オンライン開催となったため学会事務局や理事の皆様、デザイン室に大変お世話になりました。楽しみにしていた情報交換会(第17回大会までの懇親会)も幻でしたが、Zoomで行うことができた「総会」と「サロン」では会員の皆様の変わらぬ顔を拝見、学会の雰囲気を確認に感じることができ、大変嬉しいひと時でした。鶴の舞はこの大会によってペガサスの天翔となり、確実に浜松(静岡)へ向かっていると思います。



高崎収録を終えて

後列：林 智草 久保田和子 原 久美子 高木麻衣子
中列：渋川ナタリ 瓜生 郷子 澤田まゆみ 大場 文恵
前列：奥 忍 大場 俊一 吉田 秀文 成瀬 当正

2021 年度オンライン総会を運営して

事務局長 小野亮祐

総会の成功は、出席者数（委任状を含む）と、協議題への賛同、賛同多数であることを誰もが納得していることも含め確認できるかに尽きると、今回のオンライン開催でつくづく感じた。そしてオンライン開催の背後には、この成功を揺るがす普段は意識しないことがいくつもあることに気づいた。例えば、参集する会員の上限人数のことだ。仮定の会議室たるオンラインツールには参加上限がある。普段なら少ないことの方が、成立要件上の心配の種になるくらいなのに、まさか多くなることへの対応にせまられるとは・・・。

協議題での賛同の確認でもそうだ。普段であれば拍手で賛同の意を表し、多くの人が賛同をしている様子をお互いに一瞥・確認されればそれで承認となる。しかし、オンラインでは、「拍手&一瞥・確認」ができず、代わりに各個人の明確な表明とその確実なチェック&報告が必要だ。幸い、「手を挙げる」などの意思表示機能を使うことでクリアした。

もう「こんなことが!？」ということでも頭を悩ますことは二度としたくないという思いと、今年ある程度分かったのだから次回も、という思いが交錯する不思議な自分がある。まだまだ2, 3か月先ですら見通せない状況だが、はたして来年はどうなっているか？

オンライン大会の舞台裏

事務局担当理事 杉江淑子

大会当日、芦沢さん、近藤さん、笹野さん、杉江は11時に集合。スタッフの海野さんはそれより早く事務局に来て、奥デザイン室長とともに会場設営を済ませてくださっていた。1Fのリビングに6名が、各PCを前に分散して席に着く。全体打ち合わせの後、芦沢さん、近藤さんはYouTubeの公開開始に向けて最後の確認、残る私たちも総会やサロンの運営について打ち合わせを行いつつ、早めの昼食を済ませた。

午後、2人の助っ人、坪田さんと上仲さんが予定時刻にやってきた。12時40分、YouTubeの公開準備完了。公開開始の13時を前に芦沢さんと近藤さんは緊迫した面持ちでスタンバイ。私たちも各自PCの前で公開を待った。13時定刻にYouTube公開。一同、固唾を呑んで、オープニングからレクチャーコンサ-

ート終了までを視聴した。あたかもリアルタイムで参加している心持ちとなり、挨拶、レクチャー、演奏が終わる毎に事務局内に拍手が湧いた。

15時25分、レクチャーコンサートが終わり、いよいよZoomによるオンライン総会である。事務局2Fで画面の見守りをしていた坪田さんが「冷蔵庫が映ってます!」と慌てて知らせに降りてきてくれるなど、ちょっと笑える場面も含みつつ、無事総会が始まり終了した。

次はサロンである。過密と電波障害を避けるためにスタッフは1階と2階の4室に分かれた。zoomは事務局の回線から発信した3つ、理事や連絡係の方の協力のもとに北海道、沖縄、広島、新潟から発信された4つを合わせ、計7サロンが同時並行で進んだ。

サロンが閉会し、長い1日のプログラムが全て終了! 写真は、終了後に撮影したスタッフ一同である。マスクで表情が見えないので、「泣くほど笑って!」という声が飛んだ。実際、そこにいる全員が、無事終了したことを泣けるほど嬉しく思っていたに違いない。



事務局オンラインスタッフ

後列：海野 芦沢 坪田 上仲
前列：笹野 杉江 近藤 奥

オンライン・ネットワーク「天翔るペガサス」大会

事務局参事 近藤 晶子

「今年の大会はオンラインです」3月末に来たメール。映像担当は芦沢博稔さん。私は録音担当で、ロケ隊長の奥忍さんと芦沢さんと打ち合わせから本番の7日間をご一緒した。京都で演奏とレクチャーコンサート収録。翌週に群馬入り、開催校の新島学園短期大学の木の香りが素晴らしい新しいホールで録画、録音を行った。

昨年から2年に渡り、演奏練習してくださった学生さん、アレンジをぎりぎりまでしてくださった先生方。コンサート本番をカメラとレコーダーで、でき得る最

大限で撮って帰らねばならぬ。毎年、テープ起こし用録音をして10数年の私も、コロナ禍でついに記録録音から、ライブ配信用の録音をすることになった。

演奏家は時間通り、スムーズにロケは終わった。レコーダーのデータを芦沢さんに渡して、映像編集されている間は、サロンの準備をしながら、大会当日まで私も動画公開を楽しみに待っていた。

大会当日、事務局の皆さんと配信開始から一緒に大会を視聴した。レクチャーコンサートは、テロップ、ナレーション、アフレコ、整然と番組されたコンテンツに完成していた。

「配信映像、最高！」と芦沢さんに伝えると「収録日に見た臨場感、響きの再現をしました」とにっこり。ポストプロダクションを労い、言葉少なに完成を分かち合う。事務局の空気は、お互いが自立し発案して動く、プロの仕事は清々しい。

私が大会当日に録音機器の世話をすることなく、手放して楽しんだのは初めてである。

動画配信、zoomでサロン。この2年、世の中がコンピュータやネットワークと近い日々になったことである。一方、大会会場で皆さんと臨場感あふれる2日間をご一緒できない寂しさを感じずにはいられなかった。来年こそ、いつものように記録録音をしたいと思う。

オンライン道中膝栗毛 デザイン室長 奥 忍

YouTubeのための収録行脚は5月12日の奈良行から始まるはずだった。が、「緊急事態宣言」発出、会場予定の大学から「外部の人に来てもらっては困る」。急遽京都の街中にある小さなホールを借用する。美大の後輩、カメラマンの芦沢博稔さんは収録用カメラ一式、学会関係HP・音響担当参事の近藤さんは神部から録音機材一式、私は体温計と消毒スプレー入りカバン、プロジェクタ、スクリーンを担ぎ、やがて杉江理事もホールに到着。音響や照明、換気状態を整えながら収録準備をした。6階の窓を開けると京町家の薨が続く。

10時30分にはギリシャ神話グループが到着、リハーサルが始まった。想定外のコネクタが必要になり、近藤さんが京都駅前的大型電機店へと走る。出演者は着替えを済ませて収録が始まった。演奏もレクチャーも一発でgo-sign。さすがプロである。

午後の収録は日本神話グループ。奈良から持参された飛沫飛散防止の透明パーティションが2人の歌手の間に設置される。こちらも順調に進行した。レ

クチャーはDVDを含めて再構成することになり、演奏のテロップやキャプションも含めて放映用動画が完成したのは6月10日頃だったろうか。マイクが拾った遠くのイヌの声、フルートの余韻の中に交じるカラスの声は、芦沢氏の技術によって知る人ぞ知る「幻の音」と化した。

5月16日、高崎収録前日に新幹線を乗り継ぎ新島学園短大へ。群大の学生数人はクラスターで参加できず、前週に予定されていた公民館の練習場はコロナで閉まり、ティンパニはピアノで代替。出演者の初顔合わせは当日の朝である。最初の音出しを聴いて「大丈夫？」と心配した私。指揮の吉田秀文実行委員長の指導の下、休憩も挿みながらあっという間に充実した演奏となった。各パート一人の「女声合唱」は合唱団？に近い方のレコーダーの音を重ねる、という「神業」によって、YouTubeではナント合唱に聞こえるではないか！

芦沢さんと深夜メールのやり取りも「今は昔」。「オンライン道中膝栗毛」は幕を閉じ、今となっては大会当日の放映の余韻を残すのみ。終わり良ければ全て良し。実行委員会、基調講演の神部智さん、レクコンの企画者と出演者他、お世話になったみなさまに感謝を送りたい。

基調講演「神話と音楽」、そして 三つのレクチャーコンサート

参与 中村 隆夫

本学会は第2回大会（於：札幌）以降、一貫してその土地に因む愛称を冠に頂いて全国大会を開催してきました。その流れに沿えば今回が「天翔けるペガサス」となったのは「群馬」という地名から、と推測するのは容易ですが、それにとどまらず基調講演を「神話と音楽」としたのは、やはり機知と学識を旨とする本学会の見識というべきでしょう。

今回講演を担当された神部智さんはシベリウス研究の第一人者です。シベリウスといえはすぐに「カレワラ」とのかかわりが思い起こされますが、今回はその枠を超えて神話全体とのかかわりでお話を展開していただきました。

音楽に携わる人であれば、だれもが神話と何らかのかかわりをもってきたはずです。しかし改めて「神話とは」と問われれば、「そこまで深くは」と言葉を濁すのがほとんどのように思われます。

そこを神部さんは、フランスの社会人類学者レヴィ＝ストロースの観点をとおして見つめ直し、「現代の神話観」にまで踏み込む講演をしてくださいました。

講演につづく「レクチャーコンサート」では、「1. ギリシャ神話」、「2. 北欧神話」、「3. 日本神話」の3分野を会員がそれぞれ受け持って論じ、それに楽曲演奏も加わって、本学会の特質が余すところなく披瀝される内容となりました。

《ビリチスの歌》の世界を垣間見て

レクチャーコンサート「ギリシャ神話」演奏者
柚木たまみ

このたび、私は安田香さんの企画・レクチャーによる『I ギリシャ神話に基づく音楽』に参加させていただき、C. ドビュッシーの歌曲《ビリチスの歌》の演奏を担当いたしました。以前から、《ビリチスの歌》はいつか歌いたい作品でした。演奏のお話をいただき、重責を感じつつもその時が来た！と喜んでいたので。

歌い手にとっての《ビリチスの歌》という作品は、散文詩をいかに巧みに「語る」か、そしてビリチスという人物像をどのように捉えるか、ということがこなすべき課題であると思っています。さらにこの詩の世界を詳しく知る段階まで行き着くことはなかなか険しい道のりです。しかし、「ギリシャ神話に基づく音楽」の切り口によって、私の作品の理解・解釈に光が射してきました。企画の段階から詳細な

資料をいただいていたおかげで、安心して収録にも臨むことができました。そして、前田則子さんのピアノとともに歌うことができたこと、新保江美さんの奏でるシランクスの調べとの朗読共演は、至福の時でした。

群馬の地での演奏が叶わず残念ではありましたが、いつの日かそのような機会が訪れることを祈りながら、大会開催にご尽力いただいた皆様への御礼にかえさせていただきます。

シベリウスの「キュッリッキ」の演奏にあたって

レクチャーコンサート「北欧の神話」演奏者
大場 俊一

一昨年暮も押し迫ったころ、奥デザイン室長より演奏要請を受けたのがこの曲との出会いでした。音を拾い始めてみると、私が知っている限りのシベリウスの曲とは趣が異なっていることが分かりました。

まず、ピアニスティックではないこと、これは当然弾き難さを伴いました。次に、減7の和音と独特の音型・音階で調性がぼかされている箇所が多々見られることでした。そこで着目したのがシベリウス独特の書法です。

一つ目は、ドイツの和声法・対位法から大きく外れたユニゾン書法です。バスを土台とした安定した響きの代わりに、シベリウスは不安定な響きで、フィンランドの冬の厳しさと政情不安に翻弄される人の心を映し出しました。



ギリシャ神話に基づく音楽

Sop. 柚木たまみさん Fl. 新保江美さん Pf. 前田則子さん



北欧の神話に基づく音楽

Pf. 大場俊一さん



北欧の神話に基づく音楽

Bar. 成瀬当正さん Pf. 大場俊一さん



日本神話に基づく音楽

Sop. 宮田知絵さん, Ten. 水野亜歴さん Pf. 山田真季さん

二つ目は、和音を唐突に半音上げることによる色彩の変化です。一般的にはナポリの和音ですが、それ以外に半音上がった和音が突然 moll の和音に変化し、北欧の悲哀感を想起させます。しかし、第2曲の中間部では逆に春への憧れの気持ちが表れているように思われます。第3曲では、キュッリッキの踊りへの執着が様々な3拍子のリズムで表現されています。

この録音は奥さん、神部さん、澤田さんほか沢山の方々のご尽力なしには実現しませんでした。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

「音楽表現と社会」のオンライン・サロンを通して考えたこと

「音楽表現と社会」サロン連絡係 笹野恵理子
今回のサロンは、これまで議論されてきた「ライブ性」について考えさせられると同時に、オンタイムで「一同」に集って、コロナ禍での音楽活動をふりかえり、さまざまな葛藤、積極的な挑戦など、「音楽の語り」が共有された意義深いサロンとなりました。

コロナ禍で、音楽などの文化活動は「不要不急」ともされ、余儀なく制限されましたが、今回の「サロン」を通して再確認できたことは、社会における音楽（活動）がいかに私たちに、社会の人々に、大きな力を与えているかということだったように思います。制限された条件の中で「できること」からはじめ、そこに積極的な意味を見出し、音楽活動を新たに展開していこうとする革新とたくましさに勇気づけられたサロンでした。そして、「音楽と社会」について考え、語りあい、それを共有しあうことが大きな意味をもつことを確信したサロンでした。

最初は、どんなことになるか、どんなことができるか、不安でしたが、参加者のみなさんから積極的な意見を頂いて、予定時間を「大幅」延長して、無事(?) 終了することができました。オンライン大会で、「語り合い」「共有する」サロンの意義を再確認することができたように思います。

第19回(天翔るペガサス)大会に参加して

誌上発表 榊原 明子

日本音楽表現学会にて初めて自身の研究について発表したのが2019年、以降毎年誌上発表となり、学会員の皆様の目の前で演奏・発表し生の声をお聞かせいただいたのがどれほど貴重な経験だったのか、当手を振り返りながら実感しております。

そんな中での第19回大会、神話をテーマとした基調講演やレクチャー・コンサート、オンライン総会・サロンの開催など、実行委員や関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。大会の最初から最後まで拝見させていただき、未来に希望を持てる大変有意義な大会だったと感じております。私は作曲のサロンに参加したのですが、昔馴染みと初顔合わせの方々、作曲家と演奏家を中心に年齢も経歴も様々な方が集い、マスク越しではなく顔を拝見しながら、皆様のお話を交えて楽しく情報交換することができ、モニター越しとはいえ交流することの楽しみを味わえたあつという間の時間でした。

これからの数年(数十年)、音楽を志す者にとって生死に関わる苦渋の時代が続くかもしれません。それでも、音を楽しむこと、そして音楽の楽しみを皆と分かち合う時間をこれからも大切にしていきたいと心に誓いながら、まずは誌上発表に向けて頑張りたいと思います。

オンライン開催に感謝 誌上発表 萬年 祐子

北海道メム大会に大学の時の恩師、渡辺修身さんが研究発表されるということで初めて参加して以来、5年ぶりの参加となりました。

今回の天翔るペガサス大会は、私個人としては正直オンライン開催だから参加できた部分が大きく、運営された方々は大変なご苦勞があったかと思いますが、この状況下でも開催していただき本当にありがたく思います。

仕事の都合もあり、今回しっかりと参加できたのはサロンのみでしたが、私が参加させていただいた管・打楽器のサロンではコロナ禍における各自の取り組み(今回のコンサートの裏話も聞けました)について日頃の悩みを相談することができたり、コロナ後の音楽業界の動きについて希望のあるお話を聞くことができたりと、とても実りのある時間となりました。1時間という時間は本当にあつという間で、もう少し話を聞いてみたいと思ったほどです。

さて、今回、会員の先輩から研究発表のお誘いをいただいたので、せっかくの機会なので頑張ってみようと思いを申し込みました。誌上発表した内容に対してご意見を頂戴して勉強させていただき、視野を広げていければと考えています。

新入会員紹介

2021年3月10日～2021年7月10日の間に18名が入会されました。7月20日までに届いた会員の自己紹介を掲載します。なお、紙数の関係で文字数は3,4行程度にまとめ、丁寧語・謙譲語・尊敬語などの敬語や文末の「よろしくお願いします」など常套的なご挨拶文は削除しています。

プライバシー保護の観点から伏せています。

プライバシー保護の観点から伏せています。

日本音楽表現学会後援コンサート等情報

- 上敷領 美絵さん **原田 智代 ソプラノリサイタル：フランスと日本の新緑を感じて**
日 時：2021年8月6日(金) 14:00 開演
会 場：ハーモニーの家 渡邊暁雄メモリアルホール
料 金：2,000円
演 奏 者：原田智代(ソプラノ)、上敷領 美絵(ピアノ)
主な曲目：別宮貞夫〈さくら横ちょう〉、木下牧子《花のかず》より〈夢の中の空〉、中田喜直〈ゆく春〉他、M.Ravel〈Cinq mélodies populaires grecques〉、Roussel〈Le Jardin Mouillé〉、他
主 催：ハーモニーの家の会 後援：茅野市教育委員会 / 三井の森
- 河原 千尋さん **河原千尋ピアノコンサート**
日 時：2021年8月8日(日) 14:00 開演
会 場：松明堂音楽ホール
料 金：3,000円
演 奏 者：河原千尋(ピアノ)
主な曲目：J.S. バッハ「パルティータ 第4番」「イタリア協奏曲」他
問 合 せ：河原千尋
- 佐野 晴美さん **きょうことば・こんさあと こんな時こそ…京ことば**
日 時：2021年9月11日(土)16:30 開演 (16:00 開場)
会 場：有形文化財 長谷川 歴史・文化・交流の家
料 金：前売り 2,000円 当日 2,500円
演 奏 者：佐野晴美(メゾソプラノ) 稲田万里子(ピアノ) 竹中真(JAZZ ピアノ)
主な曲目：嵐野英彦作曲・白川淑 詩『京ことばによる歌曲集』より〈みつつのしゃんそねっと〉、童謡・唱歌〈うさぎ〉〈虫の声〉〈真っ赤な秋〉〈里の秋〉他
- 水野 亜歴さん **水野賢司 × 水野亜歴デュオ・リサイタル【THE WORLD OF DNA】**
日 時：2021年9月13日(月)19:00 開演 (18:30 開場)
会 場：ルーテル市ヶ谷センター
料 金：4,000円
演 奏 者：水野賢司(バリトン)、水野亜歴(テノール)、滝本紘子(ピアノ)
主な曲目：トゥリーナ《歌のかたちをした詩》、大中恩《ユダ 哀しい裏切》... 他、オペラアリア、歌曲、重唱など(曲目は変更になる場合があります)
- 高旗 健次さん **高旗健次ヴァイオリンリサイタル**
～イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ全6曲 作品 27 [広島西条公演]
日 時：2021年9月23日(木・祝) 14:30～16:00 (14:00 開場)
会 場：東広島芸術文化ホールくらら 小ホール
料 金：一般 3,000円(当日券 3,500円)、学生 1,500円(当日券 2,000円)、くららフレンズ 2,500円、車椅子席 2,500円
演 奏 者：高旗健次(ヴァイオリン)
演奏曲目：E. イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ 作品 27 (第1番 ト短調、第2番 イ短調、第3番 ニ短調 バラード、第4番 ホ短調、第5番 ト長調、第6番 ホ長調)
共 催：東広島芸術文化ホール指定管理者
問 合 せ：ysaye131@gmail.com

高旗 健次さん

高旗健次ヴァイオリンリサイタル

～イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ全6曲 作品 27 〔京都公演〕

日 時：2021年10月2日(土) 14:30～16:00 (14:00 開場)

会 場：青山音楽記念館 バロックザール

料 金：一般 3,000 円 (当日券 3,500 円)、学生 1,500 円 (当日券 2,000 円)

演 奏 者：高旗健次 (ヴァイオリン)

演奏曲目：E. イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ 作品 27 (第1番 ト短調、第2番 イ短調、
第3番 ニ短調 バラード、第4番 ホ短調、第5番 ト長調、第6番 ホ長調)

備 考：(公財) 青山音楽財団助成公演

問 合 せ：ysaye131@gmail.com

伊藤亜希子さん

伊藤亜希子ピアノリサイタル

日 時：2021年10月24日(日) 14:00 時開演

会 場：函館市芸術ホール [ハーモニー五稜郭]

料 金：一般 2,000 円、学生 1,000 円

演 奏 者：伊藤亜希子 (ピアノ)

主な曲目：ベートーヴェン「7つのバガテル Op.33」、ピアソラ〈オブリヴィオン〉〈アディオス・
ノニーノ〉、他

問 合 せ：090-7641-8036 (伊藤亜希子後援会事務局)

会員による CD/DVD 等リリース

榊原 明子さん

CD『周麗』

作 曲：榊原明子

演 奏：榊原明子 (ピアノ)、石川利光 (尺八)、大塚知明※ (吹螺師) ※ Bonus track のみ
レーベル：AMIDA LABEL

発売年月日：2021年3月28日

価 格：1,100 円 (税抜価格 1,000 円)

問 合 せ：amidalabel2018@gmail.com

会員による新刊案内

中村 隆夫さん

合唱ライブラリー児童・女声合唱のための ハンガリー合唱名曲選 1 [バルトーク編] パン焼き

原詩・日本語訳詞付 訳・編：中村隆夫

出版社：全音楽譜出版社

判型・頁数：全音版 (縦：279mm、横：204mm) 48 ページ

発行年月日：2021年4月15日

価 格：1,650 円

ISBN: 978-4-11-730281-3

中村 隆夫さん

合唱ライブラリー児童・女声合唱のための ハンガリー合唱名曲選 2 [コダーイ編] タベのうた

原詩・日本語訳詞付 訳・編：中村隆夫

出版社：全音楽譜出版社

判型・頁数：全音版 (縦：279mm、横：204mm) 56 ページ

発行年月日：2021年4月15日

価 格：1,870 円

ISBN: 978-4-11-730282-0

事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 年会費の納入について

(1) 納入期限：その年度の4月1日から大会開催1週間前までにお願いします。

学会は皆様方の年会費で運営されています。滞納されますと、機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたします。例年年度当初(4月)に速やかな納入をお願いしています。今年度の会費をまだお振り込みでない方はお急ぎください。なお、3年滞納された方は、総会での審議事項、年会費滞納による除籍対象者になります。無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の場合は「ご利用明細票」)に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。

(2) 振込方法：

- ・年会費納入方法の合理化のために、昨年度から「ゆうちょダイレクト等ネットバンキング」に入金できる方法も導入しました。ネットやコンビニ等を利用して、銀行や郵便局に行かなくても納入が可能です。もちろん従来の「払込取扱票」でも構いません。年度当初の速やかな納入をお願いします。
- ・年会費納入方法：A) 郵便局からの振込(払込取扱票を利用)
(記号—番号) 01370 =6= 78225 加入者名：日本音楽表現学会
B) 他行等からの振込(店名-口座番号) いちさんきゅう
店名 一三九(139)店 預金種目：当座 口座番号：0078225

(3) 領収書・請求書の発行：必要な方は事務局へお問い合わせ下さい。

領収書は原則として発行いたしません。「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の場合は「ご利用明細票」)を領収書として保管ください。

大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

(4) 年会費減免措置について：自然災害等の被災による減免措置の制度 学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HPから以下の書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

「年会費減免願」書式(20170321版)：

被災による年会費減免願	
年 月 日	
日本音楽表現学会	
会長 小西 潤子 様	
このたび、(〇〇地震)被災により、(〇〇〇〇年度)年会費の納入免除をお願いいたしたく、減免願を提出いたします。	
なお、(□□□□)年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。	
氏 名：	_____
現在の連絡先：	_____
連絡先電話番号：	_____
e-mailアドレス：	_____
減免申請の理由(具体的に納付困難の理由をお記してください。)	

2. 住所等、会員情報の変更：HPフォームにて速やかにお知らせをお願いします。

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせ再送しています。また、経費節減のために学会からの郵送物は郵送ではなく、「デリバリーサービス」を使っています。郵便局宛の住所変更届は民間配送業者には届きません。学会からの送付物が必ずお手元に届くように、また返送による送付作業の手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

郵送物の住所変更届を郵便局に提出されても民間配送業者には届きません。

3. 学会員のサポート制度

(1) 機関誌『音楽表現学』への投稿

原稿の投稿には、会員資格と当該年度までの会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

投稿〆切は5月15日24:00です。

(2) 大会での発表

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。〆切期日は厳守ですので各自で明記してください。

大会発表応募〆切は、2月15日24:00です。

4. 会員への情報公開

(1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。

研究ノート、随想などを図表等を含めて刷り上がり1頁以内でお送りください。

(2) コンサート等の後援・協賛

本学会ホームページのリンクから〔コンサート等後援／協賛申請フォーム〕にて事務局へ申請してください。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。また、HP及びニュースレターにも案内を掲載させていただきます。なお出演者氏名の掲載は会員のみとなります。各項目それぞれ1行で39字以内を原則とします。

[コンサート等後援／協賛申請フォーム]

(文例) 以下のコンサートの後援をお願いします。

会員氏名： _____

演奏会タイトル： _____

日 時： _____

会 場： _____

料 金： _____

出 演 者： (NLには会員名のみ掲載) _____

主な曲目： (原則として1行で39字以内) _____

問い合わせ先： ホール電話番号 _____

*個人の携帯番号・メールアドレスはセキュリティ上、本会としては記載不可といたします

(3) 新刊案内・CD/DVD リリース

ニューズレターとHPに掲載します。

- ・新刊案内の項目は著者名（会員）、書名、ISBN、出版社、発行年月日、判型と頁数、税込価格（税抜価格）、購入方法など
- ・CD, DVD の項目は制作・編集者名（会員）、タイトル、DVD-No.、所要時間、発売・販売、発行年月日、税込価格（本体価格）、購入方法など

(4) その他：隣接領域の研究会等情報などもお寄せください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

5. 学会発刊の書籍の販売について

(1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法と価格

メール等で事務局までお申し込みください。
代金は、到着後郵便振替でお願いします。大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

Vol.	会員価格（1部）	一般価格（1部）
1～3	2,500円+送料	3,000円+送料
4～14	3,000円+送料	3,500円+送料
15以降	2,500円+送料	3,000円+送料

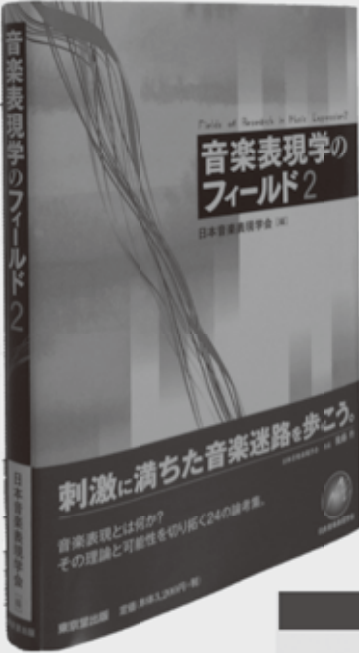
(2) 『音楽表現学のフィールド2』好評発売中。

メール等で事務局までお申し込みください。
会員価格にて購入いただけます。代金は、到着後書籍に同封の郵便振替でお願いします。
会員価格：3,000円（正価×0.9-α、税込・送料込み）
一般価格：3,456円（税抜3,200円）

〔購入申込書〕

『音楽表現学のフィールド2』の購入を申し込みます。

氏名： _____
部数： _____
送付先： _____
連絡用E-mail： _____



『音楽表現学のフィールド2』

主要部分のタイトルと執筆者

<p>作曲、指揮、声楽、ピアノ、木管楽器、古楽器製作、電子楽器、ダンス、音楽学、メディア、邦楽、伝統音楽（能）音楽教育、幼児教育、など幅広いジャンルにわたって音楽表現学の理論と可能性を切り拓く24の論考集。</p> <p>初版発行 2016年9月15日 編者 日本音楽表現学会 発行所 株式会社 東京堂出版 A5版 285頁 ISBN 978-4-490-20945-7 定価 3,456円（本体3,200円+税）</p>	<p>第1部 音楽表現の理念と技法 第1章 日本の伝統芸能における音楽表現の理念と技法 第1節 「能」における音楽表現の理念と技法 河村晴久 第2章 楽器と演奏表現の歴史 第1節 アルペジオーネ再発見 奥村 治 第2節 モーツァルト（クラヴィーアソナタ）(KV331)における演奏様式の歴史の変遷 山名敏之 第3章 管楽器による音楽表現のための技法 第1節 サクソフォンから見た「音・音楽」の様相 北山敦康 第2節 フルートから見た「音・音楽」の様相 神戸智隆 第4章 指揮者に求められる表現技法 第1節 指揮者の仕事 中村隆夫 第2節 指揮の基本的な表現技法を得るために 谷口雄資 第5章 音楽表現における「合わせ」の諸相 第1節 ピアノ奏者の視点から見た「合わせ」の諸相 坪田まゆみ 第2節 楽曲の視点から見た「合わせ」の諸相 安藤珠希 第6章 身体と音楽表現 第1節 身体表現のための西洋音楽の感じ方・捉え方の基本事項について 石場博史 第2節 「柔軟な構え」に基づく発声訓練法 齊藤 祐 第7章 ボーダレス社会における音楽表現 第1節 メディアの変遷と音楽 齊藤 武 第2節 電子楽器から見た現代の音楽の様相 海津幸子 第8章 現代社会における創作表現 第1節 作曲家の立場から考える古典・創作・表現者 中村滋延 第2節 ピアニストの立場から考える古典・創作・表現者 大竹紀子 第9章 震災と音楽表現 第1節 宮城で見られた音楽表現の諸相 吉川和夫・原田博之 第2節 被災地がつながる音楽表現 上田 益 第3節 震災を通して見えたもの 佐々木正利</p> <p>第2部 音楽表現学の展開 第1章 「上方補助音原則」再考 三島 郁 第2章 ヘンデル（メサイア）における歌詞の扱いと音楽 柳山陽子 第3章 音楽文化史におけるリストのオペラ編曲 上山典子 第4章 映画「密輸船」のプリペアド・ピアノ 竹内 直 第5章 子どもの音楽表現という様式 曾田裕治 第6章 音楽の音高に対する言語的符号化の実態 水戸博道</p> <p>附表 東日本大震災関係資料 1. 東日本大震災後の音楽慰問活動 2. 東日本大震災後の「歌」による音楽慰問活動 3. 東日本大震災後の「節歌」による音楽慰問活動 4. 沿岸市町村の慰問演奏活動回数と文化施設被災状況</p>
---	---

どうぞお買い求め下さい。

学会員価格 3,000円

一般価格 3,456円

購入申込先
問い合わせ先 日本音楽表現学会
music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

6. 入会手続きについて

メール貼付をお願いします。

本会機関誌への投稿や大会での発表の申込みは本会会員であることが条件です。手続きには2～3週間かかります。以下の書式を用いてメールで早めにお申し込みください。

- ・入会申込書はHPからもダウンロードできます。
- ・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
- ・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

[入会申込書フォーム]

入 会 申 込 書 日本音楽表現学会に入会を申し込みます。 年 月 日
氏名（ふりがな）： _____
専門分野： _____
会員種別： 該当項目に✓を記して下さい。 <input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 学生会員（学部学生のみ）
所 属： _____ (学生は学年も記して下さい。)
自宅住所： 〒 _____
連絡先：（上記と異なる場合）〒 _____
連絡先 Tel. あれば携帯 Tel： _____
e-mail：（半角） _____
推薦者名（学会員・1名） _____ 学会員に推薦者がいない場合には、事務局 にご相談ください。
学会に期待されること。ご意見等：

7. 退会手続きについて

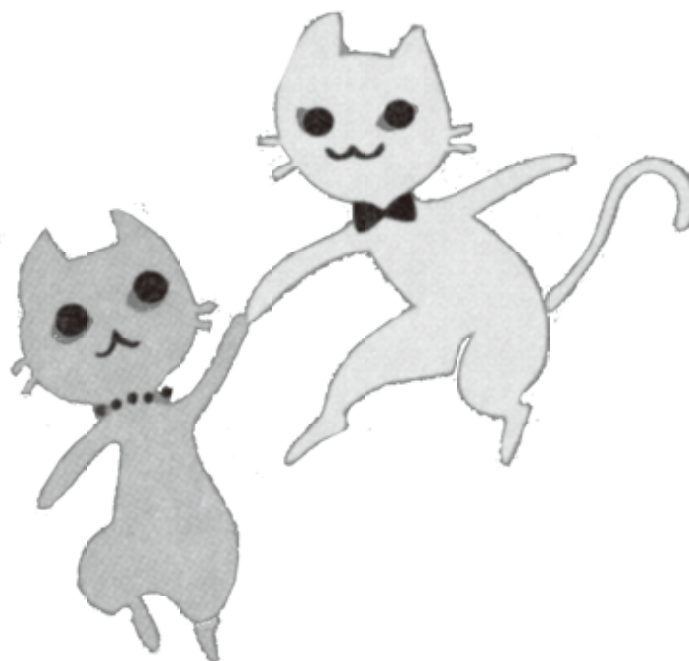
メール貼付をお願いします。

退会には以下の3点が必要です。「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

- ① 「退会届」をHPからダウンロードし、事務局に提出
- ② その年度までの年会費完納
- ③ 理事会の承認

[退会願書フォーム]

退 会 願 年 月 日
日本音楽表現学会 会長 様 このたび、日本音楽表現学会を退会したいので「退会願」を提出いたします。 なお、今年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。
氏 名： _____
連絡先： _____
連絡先 Tel.： _____
e-mail： _____
退会理由：



日本音楽表現学会第20回（ソナーレ）大会のご案内

会 場：浜松学院大学布橋キャンパス（浜松市中区布橋三丁目2番3号）

会 期：2022年6月（日程未定）

実行委員会 委員長：高久新吾（浜松学院大学）
 事務局長：宮本賢二郎（岐阜聖徳学園大学）
 委員：内山 尚美（静岡英和学院大学）
 入江 眞理（静岡産業大学）
 久次米祐江（ピアニスト）
 中楯 有起（浜松学院大学）
 二宮 貴之（聖隷フリストファー大学）



会場への主なアクセス：JR 浜松駅北口バスターミナル

1 番ポール発車のいずれかのバス

30 館山寺線

36 ゆう・おおひとみ ひとみヶ丘線

37 神ヶ谷 山崎線

以上いずれかのバスに乗りし「浜松学院大」下車（所要時間約11分）

【ソナーレ】 ラテン語で「響かせる」を意味する。この名前の防音システム開発会社もあるようだ。しかし、大会では語本来の意味を重視して、人間がこれまでに追い求めてきた響き、工夫、理念と具体について考えを深めたい。

2021年度役員・委員等一覧

会 長：小西 潤子 副 会 長：山名 敏之 藤原 嘉文 事 務 局 長：小野 亮祐 財 務 局 長：渡会 純一 理 事：杉江 淑子（事務局担当） 上山 典子（財務局担当） 澤田まゆみ（総務担当） 寺内 大輔（総務担当） 編集委員会： 委員長 渡辺 修身 副委員長 小川 容子 委員 稲木 真司 田中 宏明 田中 昌司 豊田 典子 長谷川正規 三島 郁	著作権ワーキング： 代表 福本 康之 委員 近藤 晶子 酒井 勇也 高橋 豊 中村 滋延 選挙管理委員会： 委員長 田邊健太郎 委員 牛渡 克之 松井 萌 監事： 海津 幸子 小川 有紀	会長諮問会議：安藤 政輝 佐々木正利 後藤 丹 参与： 中村 隆夫 安田 香 参事：（事務局）近藤 晶子 中村 公俊 長山 弘 似内裕美子 松井 萌 デザイン室長：奥 忍 （スタッフ）：海野万希子 稲垣 真世
--	---	--

編集後記

寄稿者の皆様、ありがとうございます。藤原嘉文さんの巻頭言は、音楽表現という営みが生きることそれ自体に深くつながっていることを再確認させてくれるものでした。大会特集号となる今号では、小野亮祐さん、澤田まゆみさん、杉江淑子さん、近藤晶子さん、奥忍さん、中村隆夫さん、柚木たまみさん、大場俊一さん、笹野恵理子さん、榊原明子さん、萬年祐子さんに、スタッフおよび参加者それぞれの立場から、本学会初のオンライン大会への思いをお寄せいただきました。今年度の大会も、残すところ誌上発表のみとなりました。会員の皆様におかれましては、楽しみにされていることと思います。また、毎号掲載している新入会員紹介ページや、CDリリース、新刊紹介につきましても、本学会会員の幅広い実践・研究が反映された興味深い内容になりました。今後も、皆様からのご投稿や情報提供を心よりお待ちしております。（寺内大輔）